

## トピックス

### 【製造業】

7 8 9 10月と受注減がひどくなり、仕入価格、ガソリンその他の値上がりを受注単価に反映出来ず、資金繰りが一段と厳しくなりました。

原材料費の値上がりが激しい。利益率を上げにくい。

受注が殆どない。

建築、自動車、産業機器(弱電関連)全般的に落ち込んでいる。以前は「ココがダメでもあちらは良い」「どこかしら上がるかKeepする」といった感じだったが、今期はすべてDown(なかなか上がってこない)

仕入(ガス代、塗料代)など値上がりで困る。受発注が少ない。

サブプライムの悪影響

### 【建設業】

若年者従業員が定着しない！

店舗工事の場合、世の中の動向から少し遅れて影響が出るが多かったが、今回はタイムリーに不況の影響を感じる。

全国的に建設、不動産業の経営不振が多発しているので、民間工事、下請等に不安が生じている。材料等の単価が上昇しているが、総額での契約なので単価に反映しても意味が無い。

新規設備投資の減少。新規建設物件の減少。

一般的に悪化することが多いのですが、その裏に隠されている発展の種や動きがあるのですからこういった面をもっと積極的に発見し、ツキのある企業や人間、モノに関わることだと信じています。

発注単価と仕入単価の不一致

とにかく仕入建材の値上がり、売価に転化出来ない状況。同業他社も上げないから皆苦しいと思う。

丸投げが多く、ブローカーが不用だと思う。

受注減と共に単価が下がってきている。

米経済不況・対日本への影響

## 【卸・小売業】

単価低下

物価や材料などの高騰と消費者の状況など(気になる)

大型店進出が多い

TASPOの所有率が低すぎる。何か施策を講じて欲しい。

交通機関の乗車券、カード(プリペイド)の廃止等により商品の減少。不況による商品券流通の減少。

同業種間の競争で販売価格の下落により、販売量と利益が大きく前年を下回っている。景気に左右される為早く回復を期待します。

不景気が要因だと思います。

取引先の予算の引き締めを感じます。

物価高で個人消費の低下、先行き不透明で車(業界)まで廻って来ない様子。

仕入単価の上昇、最近の消費者状況(気になる)

クレジット取り扱いについてときに融資引受辞退が多くなったようです。個人情報保護もあり内容は分かりませんが、お客の収支の悪化が考えられますかねえ。

今年になってから又特に安い物をあさるお客様が増したような感じ。つまり景気が悪いのでしょうか。

医療保険関連制度、法律の改正により利益率(幅)の減少、経費の増加、仕事量の増加、人材不足など負の歯車がまわりはじめてしまっている。

仕入単価が安定していない為

売上は若干伸びているが、仕入単価の上昇が収益率の低下

商店街の活気がなく、生鮮3点が揃わない。顧客が他の地域に流出してしまう(特に大型店)。路上駐車が出来ないので車を利用したの買物客が激減した。

消費者の買物状況の変化はますます大型店へ移行している。情報発信、コミュニケーション、個性化などが大変重要と考える。

個人消費(外食)の低迷

販売原価のアップ

世界的不況に入っていると思う。国の景気対策至急どんどんやってほしい。

21 ユーザー先の内製化により工賃の収入減がある。又、仕入先の仕切りが上がり、この事による収入減もある。

## 【飲食・サービス業】

煙草の売上減少、タスポ導入により。

仕入(水光熱費含め)が値上がりしている為利益が悪化している。

食材の高騰、食品の偽装

飲料、食品、消耗品等全て値上がり。粗利減少。

光熱費、仕入材料の高止まり。値上げがまだ続くが売値を上げないでいる。上げると客が来なくなると言う。

個人の消費意欲の低下、原因は先行きの不安感(社会情勢)から来ている。又、事業者としては諸物価の値上がり分を販売価格に直に反映させることにより消費者の購買意欲減退となり、売上減につながることを恐れ経営内容悪化を招いている。

仕入単価の上昇が激しい。

同業者が過剰すぎて客数が激減です。何か新しいメニュー作を考える必要があると思って日々過ごしています。

10月に入ってから売上が減少で資金繰りが良くないです。

車両関係の設計等案件が減少。受注単価が下がっている。契約が更新されないケースが目立つ。

景気後退で受注の取り止め、延期が心配。法改正により事務手続き業務が増大し、本来の業務が圧迫されている。

建築基準法の改悪に依る影響は専門分野業種の経営悪化のみにとどまらず、建主の建設計画の意欲低下にも及んでいるものと思います。そしてそれらは良い建築を建てようと言う文化面が低迷する事態になりつつあります。

今後、不況の影響が出てくるとされる。

賃金が上がらないのに物価上昇。ある程度資産を持ってる階層も株価暴落により含み資産減少。社会年金制度混乱により先行き不安等々、好材料無し。消費マインドはスパイラル的に落ち込んでゆくのを実感している日々です。